

国語科学習指導案

生徒 第1学年C組 男子21名 女子18名 合計39名
指導者 教諭 高橋 亜矢

I 単元『リーフレットで紹介しよう「花の形に秘められたふしぎ」』

II 単元について

本単元は、教材文に基づく課題の抽出とそれを解決するための調べ学習という二つの流れで構成し、単元を貫く言語活動としては、リーフレット作成を行う。単元の重点は前半にあり、文章に応じた課題発見の力を高めることと、それによってクリティカルリーディングの基礎を養うことにある。後半は今後の調べ学習へとつながる予備学習という意味を持つ。リーフレット作成は、自分の興味・関心に基づいて本文の内容を端的にまとめたり、図表を用いて効果的に発信したりすることができる言語活動であり、本単元において設定した指導目標を達成する上で有効であると考えている。また、本教材は「花の形」と「訪れる昆虫」の関係についての調査をもとにした説明文で、本文中のグラフや写真は、本文の内容をわかりやすくまとめたり、視覚的な情報を補ったりしている。そこで、学習指導要領に示される1学年「読むこと」の言語活動例イ「文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。」ができるものと考えている。

よって本単元では、この活動を通じて、目的意識を持たせながら要約や課題の抽出を行うとともに、その課題の解決に取り組ませること、単位時間ごとの学習過程を可視化して学習過程を意識化させ、生徒が見通しをもって自らの課題を解決できるようにすること、作品の交流を通して互いの読みの違いに気付かせるなどの効果的な交流を行わせることを実現させたい。

III 生徒の実態について

全国学力・学習状況調査の過去の問題の中から抜粋した問題やそれを基に作成した類似問題に取り組み、その結果を分析したところ、本校の1学年の生徒は「目的に応じて必要な情報を読み取ること」に関して課題があることがわかった。また、社会科での授業の様子を観察したところ、資料となる図表から課題に応じて必要な情報を読み取ったり、複数の資料を関連させて考えを深めたり広げたりすることに個人差が見られた。そこで、本単元においては、これらの力を高めることと、図表との関連をふまえて文章理解を深めることをねらいとした。

尚、日常的な学校生活についての情報をリーフレットにまとめる学習については、本単元より以前に「書くこと」領域として学習しており、本単元はその活用を図る場面でもある。リーフレットの利点を生かし、要約文や課題、その解決などの内容をまとめ、効果的に学習が進められるようにしたい。

IV 単元の指導目標

◎図表との関連を考えながら文章を読み、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりする。 【読むこと イ】	○自分の考えや新たな疑問について追究しながら文章を読もうとする。 【国語に対する 関心・意欲・態度】
○文章の理解を深めたり、その過程で生じた課題を解決したりするために、資料を選択し、必要な情報を読み取る。 【読むこと カ】	
○接続語のはたらきについての知識を文章理解に役立てる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (エ)】	

V 指導計画 (6時間扱い・・・本時 4/6)

学習内容	指導内容	時間	<基礎的・汎用的な能力>との関連
・単元の見通しを持って「花の形に秘められたふしぎ」を読み、初発の感想をまとめる。 ・文章全体の要旨をとらえたりする。	・単元の目標をふまえ、筆者の意見や本文中で述べられている事実に対する感想や考え、疑問などをもたせる。 ・接続語等を意識させ、文章構成をつかませる。	1	【課題対応能力】 【キャリア プランニング 能力】
・リーフレットの形式に応じて、目的や必要に応じて本文の内容を要約し、リーフレットにまとめる。 ・読み過程で生じた疑問を、解決できるも	・写真やグラフと本文の内容を照らし合わせながら読み、中心となる語句について要約したりまとめたり、問い・答え・その根拠となる事実を読み分け、目的に応じて要約させる。	3 本時 (3/3)	

のとできないものに整理し、リーフレットにまとめる。	・疑問を抽出・精選・解決させる。		
・個人課題を設定し、課題解決の方法を考える。	・本文の情報だけでは解決できなかった課題について、解決のために必要な情報を得るための方法について考えさせる。	1	
・課題とその解決のために用いた資料などを交流する。	・集めた情報をもとに交流し、リーフレットを完成させる。	1	

VI 学校研究との関連について

本校の学校研究における重点③（PDCAのサイクルマネジメント）の具体として、全国学力・学習状況調査の結果や他教科の授業観察等を通して生徒の状況を個人レベルで把握し、具体的な評価基準を設定した上で生徒の到達度を見取ることによって、指導方法の工夫や改善に生かし、社会生活に生きて働く言語能力を身に付けさせる。また、文章を読む過程で生じた本文に即した自己の疑問を解決していくという問題解決的な学習を計画した。

VII 本時案

1 題材 「花の形に秘められたふしぎ」

2 学習目標

- ・新たな疑問を持つなどして、文章理解に基づき自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。

【国語に対する関心・意欲・態度】

- ・図表との関連を考えながら文章を読み、本文の内容に沿った課題抽出や課題精選を行うために、要約することができる。

【読むこと イ】

3 学習の展開

学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
○仲間の要約文を聞いて、前時の学習内容を振り返る。 ○本時の学習課題を把握する。	○数名の生徒作品を、設定されたテーマとともに紹介する。 ○本時の学習課題を提示する。	○学習の参考となるよう、優れた要約文を、事前に選んでおく。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 第3大段落について、問いとその答えの関係や文章と図表との関係に注意して本文を読み、自分の課題を明確にした要約文を書こう。 </div>		
○第3大段落を音読し、筆者の提示している問い（「なぜそれぞれの植物は、特定の種類の昆虫が訪れてくれるように花の形を変えているのか」とその答え（根拠となる事実）をとらえる。 ○以下の本文の内容をもとにわかったこととわからなかったことについてメモを取りながら話し合う。 ・「植物にとっての花の役割」について ・「オオバスノキ」「アキノキリンソウ」が、虫をどのようにコントロールしているのかについて ○解決できた疑問とできなかった疑問を整理し、リーフレットに書く情報を選択する。 ○リーフレットのテーマとなる自己課題や本時で新たに生じた疑問に応じて第3大段落の要約文をまとめ、リーフレットに書き込む。	○問に対する答えが、筆者の主張を支える根拠となっていることに気付かせる。 ○四人一組で交流させ、解決できなかった疑問は全体で取り上げる。 ・「虫媒花植物」に着目させる。 ・写真の情報を関連させながら、新たに生じた疑問を抽出させる。 ○話し合いの中で生じた疑問も含めて考えさせる。 ○筆者の意見と根拠となる事実との読み分けを意識させつつ、自身の課題や疑問が読み取れるように要約させる。	○全体音読・指名音読を適宜取り入れる。 ○本文から読み取れるものと読み取れないものとを区別させる。 ◎新たな疑問を持つことができているかどうか。【評価1（関）】 ◎目的や必要に応じて要約しているかどうか。（リーフレット）【評価2（読）】

4 評価基準 【評価2（読）】

Bの姿・筆者の提示した課題とその答えについて、自身の課題や新たな疑問と本文とのつながりがわかるような語句を用いて要約している。

Aの姿・筆者の提示した課題とその答えについて、自身の課題や新たな疑問と本文とのつながりがより明確に読み取れるような語句を精選して、的確に要約している。